



★★特集★★ 吉川市議会の知っ得!

模擬議会編

高校生が模擬議会を体験!

公職選挙法の改正により、選挙権が20歳以上から18歳以上へと引き下げられました。これからの社会を担う若い世代の意見を反映させることがより重要です。政治や市議会を身近に感じてもらえるよう、吉川美南高等学校のみなさんに日頃感じている課題について質問してもらい、模擬議会を体験していただきました!

模擬議会のようなすです。これを機会に市議会にも関心をもってくれたらうれしいな!



生徒たちからの質問は実際の一般質問と同じ「通告書」という形式で用意し、実際の議会と同じように登壇席から質問してもらいました。

質問に対して広報委員会の市議会議員が答弁をしました。

☆模擬議会について互議長から説明を受けてスタート!

吉川美南駅東口の発展について、
①お店などはできないのですか。
②外灯の設置についてはどうですか。



☆登壇席から質問するようす



①この仕事に就いて良かったと思うことは。
②この仕事にやりがいを感じたときは。



☆模擬議会が終わって吉川美南高校のみなさん、広報委員の議員、なまりんも一緒に笑顔で集合写真

～最後に～

模擬議会閉会後の意見交換では「日頃疑問に思っていたことも、しっかり議会で検討されていることを知ることが出来た。」「議会の事が理解されていないことはもったいない」などと生徒たちから意見がありました。

市議会というと、よくわからないと敬遠されがちですが、生活に身近なことについて数多くかかわっています。今回、模擬議会に参加してくれた吉川美南高校の生徒のみなさんが市議会について身近に感じ、関心を持ってもらえることを期待します。

☆吉川美南高校がこれまで行ってきた先進的な取り組みをご紹介します☆

●選挙事務

吉川市選挙管理委員会との協働により、平成27年8月9日(日)埼玉県知事選挙において、生徒9人がボランティアとして選挙事務に携わり、8日(土)には期日前投票所、9日(日)には第2投票区の投票所と、2日間に渡り従事しました。市内高校生徒による選挙事務従事は平成22年に始まり計6回、延べ53人の生徒が選挙啓発に協力してくれています。

●模擬選挙

過去にも埼玉県選挙管理委員会主催による主権者教育と架空の立候補者名を使用した模擬選挙が行われましたが、平成28年1月20日(水)の模擬選挙では、同年1月24日(日)吉川市議会議員選挙に合わせ、吉川青年会議所主催による実際の立候補者名を使用した模擬選挙が行われました。投票に参加した合計54名(吉川市有権者数の約1/1000)の生徒達は本物の選挙公報から情報を得て、吉川市選挙管理委員会から借り受けた本物の記載台と投票箱を使い、より現実に近い形での模擬選挙を体験しました。